

日本を代表するホイールメーカー、WORKの設立40周年を記念して昨年登場した“エクイップ40”。そのデザインは何と、往年のエクイップファンの期待に応えるレースホイールを現代流にアレンジもどった!! さっそくハチロクとのマッチングに注目してみたぞ

Equip 40



AE86×
EQUIP 40

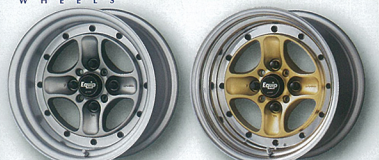


AE86 × 最新エクイップ

モデル車両
Garageフタナベ
デモカー・AE86



15inch&4H専用開発された
WORK
WHEELS
4スポークホイール



15インチ専用設計となっているエクイップ40。リムのサイズラインナップはPCD114.3の場合、エクイップ01、03と同様の5.5Jから13Jまでと非常に幅広く、セミアオーダーカラー・リムアレンジメント(金色のアルマイト加工など)にも対応可能だ。標準のディスクカラーは上のプラットシルバーと、スプリントゴールドの2色。クラシカルでいて新しい、70年代車から90年代車までマッチングが楽になる最新エクイップシリーズの逸品だ

ディスク、リムに
WORKの拘りが
入ったホイールです

撮影直前より以前のワークスにもお揃いだったことのある(除く・岸田)に参るカレシワタナベ代表・渡邊さんのレヒンと、手前はエクイップ40誕生の逸話、技術解説をしてくれたワーク広報の吉川さん



WORK広報
吉川さん

Garage 渡邊さん
フタナベ



**Equip
40**

FRP製のホイールは、通常のアルミホイールよりも軽量化が図られており、10Jというサイズでも15インチのタイヤを装着可能。また、エアバルブもシルバーとブラックの2種から選べる。



拘り仕様の各部



スポークに銀文字（浮き文字）が入られたエグイップ40。デザイン上の大きさを確保ともなっているラージヘッドピスボルトはステンボルト×ステンワッシャーの他、ブラック×ステン、ブラック×ブラックの3種から選択が可能。また、エアバルブもシルバーとブラックの2種から選べる。



幅広い年代に合う 普遍的なカタチ



リアはFRP製のリアスポイラー、リアバンパー、リアウィング、リアサスペンション、リアブレーキ、リアライト、リアエアロパーツなど、エアロパーツはオプションで装着可能。



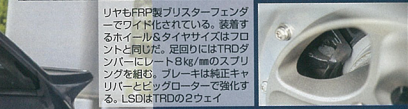
'87年式・COROLLA LEVIN GT-APEX



FRONT WORK EQUIP40 10.0J-15 (-28)



FRPのプリスターファンターを装着し、10Jマインス28というサイズを装着する。組み合わせるタイヤはフェデラルRSRの195/50-15



REAR WORK EQUIP40 10.0J-15 (-28)

WORKコンペホイールが原点となった記念モデル。昨年ワークホイールのランチャップに加わった2バーサリモデル。と言え、エグイップ40（ファイナル）そのベースとなっているのは往年のレーシングカーに装着されていたセミアロウタイプのコンペホイール。コンペホイール（本）に、深い溝が設けられた立体的なスポークやワーク伝統のリムを使った3ピース構造、軽量化と放熱効果もある飾り穴を「ワーク」ならではの高い接合拘りを投入した逸品となっている。その拘りや細部まで全て例えは、鍛造でありながら砂型鑄造の粗い表面を、タイヤ表面に再現（フットプリント）に採用。タイヤとリムを結合するピスボルトではボルト数を16本に「ファイニッシュ」などは16本。また、その座面を広く設ける「エグイップ」は、強力な空気圧を醸し出し、グリップ力アップを実現。



自社内製に 拘ったデモ車

M-1は純正6速での06のZ/Nに修正G速を搭載。A/E8への換装はガレージワタナベのキットによるもので、運営さんは「このように作り直したオシシナルバルブの製作やワイヤオフボスを徹底とし、自社内製を拘りたのだ」



ボンネットのみカーボン柄を活かした無塗装仕上げ。3段になったダクトは先端の1段目以降がカーボン板でふさがれていて、細かな配線がうかがえる



室内 フル補強ボディに2座 エンジン 20バルブ×6速M/T



Defリンクメーターとディスプレイに追加メーターをまとめ、シンプルに仕上げられている室内。ステアリングはナルディラシック33φ。電動パワステが装着されていて、こちらもガレージワタナベのオリジナルキットだ

換装されているエンジンはAE111の4A-Gがベースで、ポート修正、ヘッド修正を研した上で、904/304カム、TODA815φピストンなどを組んでフリーダムC/Pで動かす。エンジンルームはボディ内側と同じガンメタ塗装仕上げで、各所にはスポーツ補強が入る



シートは運転席がレカロRS6、助手席がAPEX純正。フロアはエンジンルームと同じガンメタで、これは「外装を違う色に塗り替えてもそのままいける」ため、各パネルの継ぎ目はフルスポット補強



ファンネルを装着したA/E111のフルボディに、シルクロードノドニータイプタコ計(48φ)と社外吸排気パイプ。冷気は社外ラジエターに電動ファン。トランスミットは後述のようにトラステックオイルクーラーを装備する